


 ☺家読（うちどく）はじめてみませんか？☺

【小学生高学年向け】

♣保護者の皆様へ♣

第6号（令和6年12月発行）芦別市立図書館

◆幸せに生きるための贈り物◆

子どもが生まれた時は、「健康に育ててほしい」と願っていたのに、いつのまにか多くのことを望むようになります。学年が上がるにつれて、学力や身体能力に差が出てくると、ついつい子どもに小言を言う場面も多くなってきます。

成長には個人差があり、個性もそれぞれ。子どもが幸せに生きるために、これから必要となる能力を身に付けてあげられたら良いですね。

本は心の豊かさを育てます。本の楽しさを知ると、自ら本を読むようになり、多くのことを知る機会が増えます。読書の習慣付けは、親から子どもへのやさしい「贈り物」です。

「本をさがしてみましよう！」

★本を読む習慣は家庭環境★

作家や本好きな人の多くは、家の中に本がたくさんある環境で育っている人が多いようです。子どもたちから身近に本があることで、自然と本を読む習慣ができます。面白い本に出会うことで、本が好きになります。親が勧める本はなかなか手に取ってもらえませんが、目のつくところに置いておくと、いつの間にか読んでいることもあります。

図書館に来て一緒に本棚を見てみましょう。面白い本を発見するかもしれません。

★なぜには本がおすすめ★

子どもたちは、分からないことがあると、「なぜ？」と聞いてきますが、年齢が上がるほど質問も難しくなり、子どもに分かるように説明するのはとても大変です。

そんな時は、本を読むことをお勧めします。SDGsやLGBTなど最近テレビで取り上げられるテーマの本もたくさん出版されています。様々なテーマの本が出版されているので、「なぜ？」の答えが見つかります。

子どもの本は、絵や写真が多く、簡潔にわかりやすく書かれています。色々な学びがあり、大人にもお勧めです。

★本選びに迷ったら★

本を読みなれていない子は、読みたい本を見つけるのが苦手です。そんな時は、新刊本や特集コーナーなどを見てください。本のガイドブックやお勧め本のパンフレットもそろえています。「面白そうだね」の一言で、本との出会いが始まります。

★知る楽しさ★

興味を持っていることや疑問に思っていることがあったら、子どもが調べられるように、手助けをしてあげましょう。自分で答えを見つけた経験は、進んで取り組む意欲的な気持ちを育てます。

小学校高学年向け おすすめ本のリスト

家読通信 No.6

4年生におすすめの本

夜のぼうけん



「スノーマン クリスマスのお話」
作：マイケル・モーパーゴ
原作：レイモンド・ブリッグズ
出版社：評論社

宇宙人の ひ・み・つ



「火星のカレー」
作：齊藤洋
出版社：講談社

5年生におすすめの本

チャンプ本



「なみきビブリオバトル・ストーリー」
作：赤羽じゅんこ
出版社：さ・え・ら書房

空想好きのモルモット



「モルモット・オルガの物語」
作：マイケル・ポンド
出版社：PHP 研究所

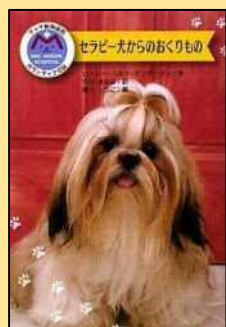
6年生におすすめの本

復活に挑戦



「よみがえれ、マンモス！」
作：令丈ヒロ子
出版社：講談社

幸福を届ける



「セラピー犬からのおくりもの」
作：ローリー・ハルツ・アンダーソン
出版社：金の星社

偉人ってどんな人？

偉人と言われる人は、何をしたのでしょうか？
好きな事や変えたい事に一生懸命取り組んで、夢を実現した人たち。その裏には、どんな困難があつて、どんなふう乗り越えたのか、知りたいと思いませんか？

偉人の人生を知る本

「F・1おやじ 本田宗一郎の生涯」

文・絵：高橋透 (汐文社)

エンジンの開発に取り組み、自動車会社ホンダや鈴鹿サーキットを作った。

「ネルソン・マンデラ」

文・絵：カディール・ネルソン (すずき出版)

人種差別の激しい南アフリカを変えようと立ち上がったアフリカ初の黒人大統領。

「草木と見た夢 牧野富太郎ものがたり」

文：谷本雄治 絵：大野八生 (出版ワークス)

植物を調べ、日本初の植物図鑑を作り上げた「日本の植物学の父」。

「雪の写真家 ベントレー」

文：ジャクリーン・ブリッグズ・マーティン

絵：メアリー・アゼアリアン (BL 出版)

雪の研究と結晶の写真撮影に生涯を捧げ、世界中の人々に雪の美しさ、神秘的な魅力を伝えた「雪の専門家」。

「大谷翔平 スーパースター物語」

作：シェレル・キム (カンゼン)

メジャーリーグで活躍し、世界中から愛される二刀流選手・大谷翔平の一流と言われる理由。

